

図書館においてよ 10月号

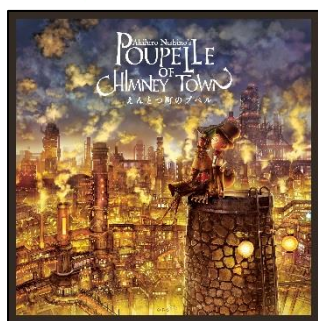


2020年10月発行

残暑も終わり涼しい季節になりました。みなさん、今年に入ってから読書をしましたか？ まだ読んでないそのあなた！ ぜひ、「読書の秋」と言われるこの季節に読書してみてください。きっと、お気に入りの一冊に出会えることでしょう。私たち図書委員が選んだおすすめの本を紹介します！

♡ 10月におすすめの本 ♡

テーマは絵本！



えんとつ町のプペル

にしのみやひろ

「信じぬくんた。たとえひとりになっても」

ゴミ人間のプペルとえんとつ屋の少年ルビッチの友情を描いた物語。作者はあのお笑い芸人キングコングの西野亮廣さんです！ きれいな絵と独特な世界観で描かれた素敵なストーリーになっています。ぜひ、読んでみてください！



ヨールのクマ

宮部みゆき

目に見えないけど、そこにいるよ。

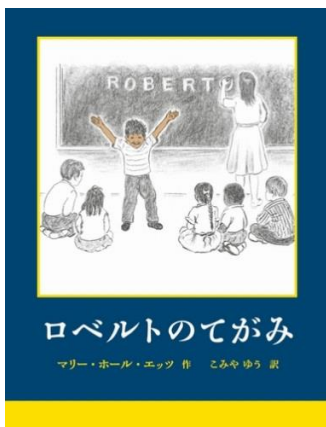
やさしくて、悲しくて、一生忘れられない「かいじゅう」のおはなし。

悪い妖怪から町をまもっている妖怪クマは透明でまじのひとは姿が見えません。でもある日、クマの姿がみえるようになったのです。その時、まちの人達が取った行動とは… 透明なかいじゅう「クマ」をめぐる、やさしく悲しい物語。中学生にもおすすめです！



ロベルトのてがみ

マリー・ホール・エッツ



本作は、エッツがセツルメント活動（貧困地区の住民の生活全般を援助する社会事業）をしていたころに出会った実在の少年をモデルにした物語です。エッツのキャリアの前半は、セツルメント活動家で、体言を崩すまで従事していました。

エッツの作品の子どもへの愛情と眼差しは、どれもこの活動の経験に裏打ちされたもので、特に本作は、時代や人種、文化や言語などを超えて、未来、子どもの生き方は、どんな子にも備わっている、ということを私たちに教えてくれます！ 現代社会において大切なことがたくさんつまっている作品です！

今月の担当 3-7

(3-6, 2-2)



図書室は静かで読書や勉強に向いているでござる！！！！
皆の衆！1回でいいから図書室にカモ〜ンヌ！